



# 寺報

2023年(令和5年)

No. 331

# 6月号

Zenkyo-ji monthly  
Communications Paper  
En [えん]

# 縁

高名なお坊さん(その18)

## 日蓮(1222年~1282年)



日蓮宗の宗祖、日蓮は、相次ぐ自然災害や争乱などで混乱を極めた鎌倉時代に生き、幾多の困難に見舞われながらも、強い信念のもと、お釈迦さまの教えを日本の地でひろめた人物。

人々の苦しみを取り除き、社会全体が幸せになるように願った日蓮は、来世ではなく“今を生きる”ことの大切さを説き、法華経への信仰にその生涯を捧げました。

辯説法（道端で行う説法のこと）を開始した日蓮は、浄土宗や禅宗などの他宗を攻撃し始めます。

さらに『立正安國論』（念仏を禁じないと国内の反乱や海外から侵略されると主張したもの）を前執権の北条時頼に提出。それらの結果、日蓮は圧迫を受け、伊豆



日蓮上人

の伊東へと流されることになりました。流されて2年、日蓮は赦免されますが、その後も法難（仏教の教団や仏教徒が受ける迫害）は続きます。

ついに日蓮は捕らえられ、龍ノ口刑場（現在の神奈川県藤沢市）で斬首に処せられることに。しかし刑は中止となり、日蓮は佐渡へと流されました。佐渡では『開目抄』を著しています。

再び赦免され、日蓮は甲斐国に身延山久遠寺を開山。久遠寺は、日蓮宗の総本山。久遠寺で布教とともに人材の育成に務めた日蓮でしたが、湯治に行く途中、武蔵国池上（現在の東京都大田区）で入滅しました（享年61歳）。



日蓮上人像

確かに、雨季に外出するのは億劫であり、川が氾濫すると交通が困難になります。だから、一か所に集まって定住する、という訳ではあるのですが、大切なのは、それだけの理由ではありません。

雨季は、草木や虫がよく成長する時期にあたります。そこで、足元の悪いこの時期に外出し、小虫を踏み潰したり、新芽を痛める恐れを考え、外に出かけないのが大切と捉え、洞窟や寺にこもって修行に専念することになったそうです。これを安居といいます。

季には、一か所に集まって定住し、論議などをする特別な修行が行われたとのことです。

お釈迦様と弟子達は、定住せずに布教活動をされました。しかし雨季には、一か所に集まって定住し、論議などをする特別な修行が行われたことを指します。

### 住職レター



本堂北側の庭園